

(別紙5)

補助事業番号 26-1-109
補助事業名 平成26年度学術・文化の振興のための活動補助事業
補助事業者名 一般財団法人地域伝統芸能活用センター

1 補助事業の概要

(1) 事業の目的

地域伝統芸能等活用した全国イベントを開催することにより、地域伝統芸能等の文化を広く鑑賞する機会を提供するとともに、地域伝統芸能等の保存継承、振興に寄与し、観光及び地域商工業の振興を図ることにより、公益の増進に寄与する。

(2) 実施内容

地域伝統芸能全国大会

「地域伝統芸能による豊かなまちづくり大会NARITA」

<http://matsurinarita.jp/>

実施日：平成26年11月8日(土)～9日(日)

会場：千葉県成田市（成田国際文化会館、成田山総門前・表参道）

主催：「地域伝統芸能による豊かなまちづくり大会NARITA」実行委員会、一般財団法人地域伝統芸能活用センター、成田市

後援：国土交通省、観光庁、経済産業省、文化庁、農林水産省、総務省、千葉県、日本政府観光局(JNTO)、日本放送協会(NHK)

協力：公益社団法人日本観光振興会、公益社団法人全日本郷土芸能協会、一般財団法人伝統的工芸品産業振興協会、成田空港圏自治体連絡協議会

協賛：公益財団法人JKA

開催記念式典(成田国際文化会館)



公演の様様

<気仙町けんか七夕太鼓>



<ひろしま安芸高田神楽>



2 予想される事業実施効果

- ・本事業である地域伝統芸能全国大会を開催し、伝統芸能やお祭りに公演の機会・場の提供、後継者たる若年層の参加の機会の提供、祭りを通じて地域の振興・活性化に尽力している団体等を顕彰するなど、催事を通じて観光誘客、商工業の振興を図ることにより、生活のゆとりや個性豊かな地域づくりに資するものである。
- ・また、出演者、来場者も達成感や満足感を感じていることから、全国に日本の文化、伝統芸能や祭りの素晴らしさを発信し続けるために継続して開催していくことが重要であり、担い手や観客など参加者の活力にもなっている。
- ・福島県では、平成24年の本大会のあと、25年9月に「ふるさとの祭り2013」を独自に開催しているなど、本大会の開催ノウハウを活かした地方公共団体等での伝統芸能や祭りのイベントの開催に寄与している。
- ・JR西日本においては、平成25年のいしかわ大会における開催ノウハウを活用し、平成26年5月に大阪駅構内において、西日本の伝統芸能や祭りを中心とした「地域伝統芸能フェスティバル」を開催し、伝統芸能、祭りの素晴らしさを発信した。更に平成27年5月にも開催を予定している。
- ・旅行会社、JR、旅行雑誌のHPやパンフレットにより全国大会への個人旅行者参加へのPR、ツアー企画の仕向地情報の提供など、本大会のみならず各地の伝統芸能や祭りのイベントへの誘客の効果が現れてきている。

(別紙5)

3 本事業に係る成果物

(1) 補助事業により作成したもの

<車内吊りポスター(B3)>



<ポスターB1、B2>



(別紙5)

<チラシ>



(1)



(2)

<プログラム>



<事業報告書>



(別紙5)

<記録DVD>



4 事業内容についての問い合わせ先

団体名： ^{イッパンザイダンホウジンチイキデントウゲイノウカツヨウセンター}
一般財団法人地域伝統芸能活用センター
住所： 〒103-0004
東京都中央区東日本橋2丁目24-12
代表者： ^{カイチョウ ナカムラ トオル}
会長 中村 徹
担当部署： ^{キョウムダイニブ}
業務第二部
担当者名： ^{ウチダ オサム}
内田 修
電話番号： 03-5809-3782
FAX： 03-5809-1430
E-mail： gyoumu@dentogei.no.or.jp
URL： <http://www.dentogei.no.or.jp>